

講義コード	25468031	
担当者	森田由利子	
研究題目	「デザイン、芸術、自然」と企業活動－人文学的/文化的視点から	
<p>(目的) 「デザイン、芸術、自然」と社会や経済の関わりについて考察する（担当者はイギリス文化やライフ・ライティングを専門としているため、人文学的/文化的視点からのアプローチとなる）。また、話すことと書くこと、いずれにおいても自分の考えを正しく言葉で表現できる力を習得する。</p> <p>(内容) 企業の活動や戦略にデザインや芸術は何らかの役割を果たしているのだろうか。美しいものは人の暮らしや世の中を変革する力を持っているのだろうか。研究演習入門は、「文化経済学の祖」とも言われるジョン・ラスキンの考えを継承したウィリアム・モリスの思想と実践について学ぶことから始める。モリスは、産業革命後のイギリスにおいて、機械化によって失われた手仕事の美や人間らしい労働の在り方の復権を提唱した。彼の活動は日本にも大きな影響を与えており、「民芸運動」もその一つである。その運動を支援した一人として、現アサヒビールの創業者を挙げられるが、これは「企業メセナ」の初期の一形態と考えることができる。また、モリスは古い教会などを保護する協会を設立したが、それは歴史的建築物と美しい自然の景観保護を目的とする「ナショナル・トラスト運動」へ影響を与えたと言われている。</p> <p>モリスから話は始めるが、広く「デザイン、芸術、自然」と社会や経済/企業活動との関わりについて考察していきたい。ゼミの導入部では、「企業メセナ」（例：ベネッセコーポレーションによる香川県直島でのアート活動）や「企業の社会的責任（CSR）」（例：ブルガリによるチャリティリングの販売）のさまざまな事例、および、ナショナル・トラストの経営手法の検討などを予定している。</p> <p>(ゼミ運営) 研究演習入門では、文献の輪読やDVD鑑賞、企業メセナやCSRの実例を調べるなどを通して基本的な知識を身につける。毎回の授業はゼミ生による報告と議論によって進めるので、十分な準備と積極的な授業参加が必須となる。従って、無断での遅刻、欠席は認めない。また、関連の美術館やライフスタイルショップ（コンランショップ、マーガレット・ハウエル、IKEA、マリメッコ、Flying Tiger Copenhagenなど）へも足を運びたい。研究演習Ⅰ、Ⅱについては、ゼミ生の意見を聞いた上で運営方法を決定する。教員主導ではなく、学生主体の活気あるゼミ運営を目指したい。</p> <p>なお、担当者は英語の教員なので、希望するゼミ生には、英語によるプレゼンやTOEICのスコアアップのための指導を行うことも可能である。</p> <p>(選考について) 志望者は必ずゼミ説明会に出席し、ゼミの内容をよく理解した上で応募して下さい。また、志望理由書を所定の用紙にて提出すること（用紙は事務室で配布、提出は用紙に記載された期限までに事務室へ）。なお、志望者が定員を超えた場合は、面接を実施します。</p> <p>*質問があれば、ym105@kwansei.ac.jp まで連絡して下さい。</p>		
受け入れ条件		志望理由書の提出と面接実施の場合は必ず面接を受けること。
担当者のプロフィール	専攻	英文学
	現在の研究テーマ	イギリス文化 ライフ・ライティング（伝記、自伝、肖像画、肖像写真）
	所属学会	日本英文学会、日本ヴァージニア・ウルフ協会、大学英語教育学会